

【開会 午後4時】

- 1 開 会
- 2 出席員の報告
- 3 競輪事業部長挨拶

○伊与部部長

函館市競輪運営協議会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本日、委員の皆さまにおかれましては、なにかと大変このようなお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、市営函館競輪の運営に関しまして、ご理解とご協力をいただきまして、心より感謝を申し上げる次第でございます。

本日の議題は、お手元に配布のとおり、令和2年度の特別会計決算（案）と、令和3年度の函館競輪売上状況について、それと3番目といたしまして、令和3年度の函館競輪の下期開催日程についてのご報告をさせていただきたいと存じます。

令和2年度の函館競輪については、当初、19開催59日間を予定しておりましたが、ご承知のとおり、緊急事態宣言の発令等を受けまして、記念競輪を含め、4月5月の6開催19日間を中止いたしました。

その後、中央団体で構成するコロナ対策本部が定めた業界ガイドラインに従い、感染防止対策を万全に講じながら、無観客開催の実施、そして入場制限をしながらの有観客開催の再開を行ってまいりました。

また、宿舍内での過密を防ぐため、参加選手を減らすための取り組みとして、レースを9車立てから7車立てへ変更、また、レースを1日10レースから12レースであったところ9レースに削減するなど、競技内容の変更も全国的に行いました。

当初の売上予算168億円のうち、中止した開催で約69億円の売上を見込んでいたところですが、開催再開後は、全国や中央団体等に対する函館競輪の売り込みを強化し、選手あっせんや場外発売で協力を得ることができたことに加え、コロナ禍における巣ごもり需要の高まりを受けたインターネット投票の増加等の要因も重なり、当初の見込みを大幅に上回る売上をあげることができました。

結果、想定していた69億円の売上減少から20億円取返し、最終的な売上は48億円の減に留まったところでございます。

このようなことから、令和元年度に引き続き、収益を確保することができ、令和2年度においても一般会計への繰出しを行ったほか、競輪場施設の計画的な改修を実施していくための施設整備基金にも約2億円を積み立てることができたところでございます。

施設整備基金は令和2年度末で残高が約6億3千万円となったところであり、今後の施設改修、整備等の財源として活用してまいりたいと、考えているところでございます。

令和3年度においても皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染症の終息がまだまだ見えないところでございます。

また、感染力の強い変異株が猛威をふるっており、全国でも多くの競輪場で、無観客での開催を余儀なくされておりますが、函館競輪場においては、ミッドナイト競輪以外の有観客で開催できるレースは入場制限を行いながら全て有観客で開催しているところでございます。

今年度は、5月15日から18日の4日間、GⅢの記念競輪を開催したことに加え、7月16日から18日の3日間は、皆様ご承知の通り6年ぶりとなる、GⅡの特別競輪であるサマーナイトフェスティバルも、開催させていただくことができました。

サマーナイトフェスティバルは、全国の競輪場で希望を出して、中央団体に選考して開催場が決定するものでありまして、今回函館で開催となったものであります。

これらの開催ではこういった社会情勢ですので、場内のイベントも普段は大々的に行うところ、結構自粛しております。一時的に滞留人員が定員に達しましたので入場制限も行ったところではあります。

しかしながら、特にサマーナイトフェスティバルでは、初めての試みとして、バンク内でのLEDによる光の演出や、競輪場の正面玄関におけるプロジェクションマッピングを行い、入場規制をかける中でも多少なりとも、目新しい演出をさせていただいて、市民の方々に競輪場で何かやっているなという認知をいただけたとともに、地元の競輪ファ

ンの方々に楽しんでくることができたと思っております。

現在も全国的な新型コロナウイルスの感染者数の増加が、毎日のように報道されており、北海道におきましても、緊急事態宣言が発令されている状況でございます。函館市は、ご承知のとおり一般措置区域に指定されておりますことから、コロナ禍での現状につきましても、これも緊急事態宣言の要請内容を踏まえながら、開催日程の時間を夜の8時までということで短縮するなど、そういった努力をしながら、進めております。

宣言期間は9月12日までとなっている訳でございますが、これからどういうふうになるのか、政府でも議論されているところでございますので、今後も引き続き国、そして道、また市、および競輪業界の動向を注視しながら、感染拡大防止対策をより一層徹底して、関係者が一丸となって、この危機を乗り切っていかなければならないと改めて感じているところでございます。

さらには、皆様には以前にもお伝えさせていただいておりますけれど、令和3年度から、市営函館競輪の包括受託者がトータリゼータエンジニアリング株式会社というところに変更しております。

4月から業務開始ということで、これまで売上増加のためのいろんな各種施策、その準備実施等にご尽力いただいたところです。今後お互いに協力しながら、是非この函館競輪場を盛り上げていこうと考えております。

引き続き、安心安全な感染対策を心がけながら、北海道で唯一の競輪場として、そして、効果的効率的な事業運営に向けた取り組みを進めながら、函館競輪のさらなる発展に努めて参りたいと考えておりますので、皆様のより一層のご協力をお願いしたいと思います。

また、昨年度の当初売上予算は168億でありましたけれども、今年度はサマーナイトフェスティバルの開催もありましたことから、当初予算で売上222億としておりました。しかしながら、コロナ禍による巣ごもり需要の高まりに加え、営業努力やお客様向けの各種施策をいろいろと進めた結果、売上が当初の見込よりも好調でございまして、後ほど報告いたしますが、本日付で45億の歳入歳出予算の増額をいたしました。これは、弾力条項という、補正予算によらず歳入歳出予算を増額させる、地方

自治法および特別会計条例で定められた方法で行ったものです。

函館も少し肌寒くなってまいりました。皆様も本当に健康には十分に注意していただき、是非これからも函館競輪に対してご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひしたいと存じます。

本日は限られた時間ではございますけれども、どうぞよろしくお願ひ致します。

3 事業課長挨拶

○小林事業課長 4月1日に着任致しました事業課長の小林でございます。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

4 議題

(1) 報告事項

①令和2年度自転車競走事業特別会計決算(案)について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長 昨年度はコロナで中止もしているのです、なかなか前年度との比較というのは難しいと思うが、先ほど部長の話でも、収益的にはいい結果がでたとのことによかったと思う。

この決算(案)について、なにか質問等あるか。

(各委員：特になし)

②令和3年度市営函館競輪売上状況について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長 資料等について、なにか質問等あるか。

○千葉副会長 売上について、インターネットの伸びが大きいとの話であったが、イン

ターネットの売上割合はどのくらいなのか。

○小林事業課長 令和3年度は、全体の売上の約73%となっている。

○千葉副会長 割合が非常に大きい。

○小林事業課長 年々増加傾向にある。

○伊与部部長 補足説明だが、表の臨時場外の部分で考えると、その中でインターネットの占める割合は約65%、場間場外専用場外35%となっている。このインターネットにCTCを加えると先ほど課長が説明した売上割合になる。

○今井会長 今回の弾力条項適用額45億というのは、かなり大きい金額ではないか。

○小林事業課長 弾力条項の45億円については、過去最高額の適用となっている。

○伊与部部長 弾力条項の話であるが、平成元年度から令和3年度までで10回程、弾力条項を適用しており、今回の45億は最高額である。

その次に平成13年度の31億円、3番目は令和元年度であり、ミッドナイト開始による売上増加で27億円の弾力条項を適用している。

○千葉副会長 本件とは直接関係ないが、業者変更により場内の投票方式が変わったが、利便性はどうか。以前はカードがなければ買えない端末が多かったが。

○伊与部部長 昨年度までは前包括受託者のシステムで、eスマートカードというものを使っていたが、事業者が変更になったため昨年度末で廃止となっている。現包括受託者は、独自の調査を行い、函館では現金投票の方がより多くのお客様にご利

用いただけるという提案をしており、全て現金投票に切り替えたところである。

これからはキャッシュレスの時代だということで、例えばスマートフォンでの投票等についても検討しているが、金融諸法も関連していることから、まだ調査を詳しく進めていく必要があると考えている。なお、eスマートカードの入金残額がある方については、廃止から10年を期限として、払い戻しができる旨、新聞広告や場内掲示にて周知を図ったところである。

○今井会長 他に質問はないか。

(各委員：特になし)

③令和3年度函館競輪下期開催日程について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長 何か質問等はあるか。

(各委員：特になし)

(2) その他

○今井会長 その他、事業部を含め何かあるか。

○伊与部部長 全国的の競輪場でもそうだが、函館競輪場においても、関係者にコロナ陽性者が出ている。我々としては、競輪ファン、地域の方の安心安全を第一に考えながら対策を万全に講じるということで、選手の方も必ずPCR検査を受けて函館に入ってくる。全選手がワクチンを受けることができていない状況ではない中での開催ということで、開催中にもし選手の陽性が判明した場合、市長にも相談しているが、そうなった時にはまず開催を中止するというのを、職員、関係者も含め、本当に肝に銘じながら進めている。全国で2千何百人という選手がいる中で、選手の皆さんも気をつけながら参加している。

函館は、下期の3開催を含め、残すところはあと6開催なので、我々も気を緩めることなく注意しながらやっていきたいと思っているので、是非ご理解、ご支援を賜りたいと思っている。

= 以上をもって終了 =